

教科(科目)	保健体育(体育)	実施学年 (履修規定)	第三学年 必修
単位数	商業科 3単位 食物科 3単位 生活文化科 3単位 福祉科 3単位	教科書	
		副教材	
科目の目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題をもって各種の運動を実践できる能力を養う。 ・球技では、チームや自己に適した目標や課題をもたせ、互いに協力して計画的に練習やゲームができ、併せて公正な審判や運営ができるようにする。 ・選択制種目の中の武道・ダンスについては、自己の能力に応じた運動が実践できるようにする。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	オリエンテーション 体づくり運動	1年間の授業説明と前期選択種目の発表 体を伸展・回転・捻転などの運動をリズムカルに行ったり、歩・走・跳などの全身運動を行う。	・授業の取組 ・欠席・見学の有無	・自己の能力に応じた運動ができているか。 ・仲間と協力して、積極的に活動している。
5	選択制種目 体育理論	前期選択制 ・ソフトボール ・テニス ・バレーボール ・バドミントン ・卓球 ・剣道・ダンス	・授業への取組 ・欠席・見学の有無 ・施設・用具の利用法 ・あいさつや礼儀作法	・積極的に授業参加ができているか。 ・球技種目の特性に応じ、集団的・個人的技能を高める練習やゲームができる。 ・進度に応じた自己評価ができる ・スポーツのもつ、運動技能の特性を知り合理的な動きを知っている。
6				
7				
期末考査(実技テスト) 選択種目での基本的動作と取り組み姿勢				
9		前期選択制継続		・仲間と協力して審判ができたり競技運営ができる
10	選択制種目 体育理論	後期選択制 ・ミニサッカー ・バスケットボール ・バドミントン ・卓球 ・剣道・ダンス	・授業への取組 ・欠席・見学の有無 ・施設・用具の利用法 ・あいさつや礼儀作法	・積極的に授業参加ができている。 ・チームや練習において自己の能力に応じた課題を設定している。 ・ゲームでは、自分の役割を果たすと共に、仲間と協力して活動できる。 ・進度に応じた自己評価ができている。
11				
12				
期末考査(実技テスト) 各球技の基本的動作と取り組み姿勢				

1	体育理論	後期選択制継続	・運動技能を高めるための方法や実践を知り、計画的に課題解決ができる。
卒業考査（一年間の総合評価）			

評価の観点及び趣旨

① 関心・意欲・態度

運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動をしようとする。また、公正・協力・責任などの態度を身につけるとともに、健康・安全に留意して運動をしようとする。

② 思考・判断

自己の能力やグループの能力を知り、各運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。

③ 技能・表現

自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。

④ 知識・理解

社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し知識を身に付けている。

「保健体育（体育）」の総合評価における各観点の割合

- | | | | |
|------------|--------|---------|--------|
| ① 関心・意欲・態度 | 30 %程度 | ② 思考・判断 | 20 %程度 |
| ③ 技能・表現 | 20 %程度 | ④ 知識・理解 | 30 %程度 |